

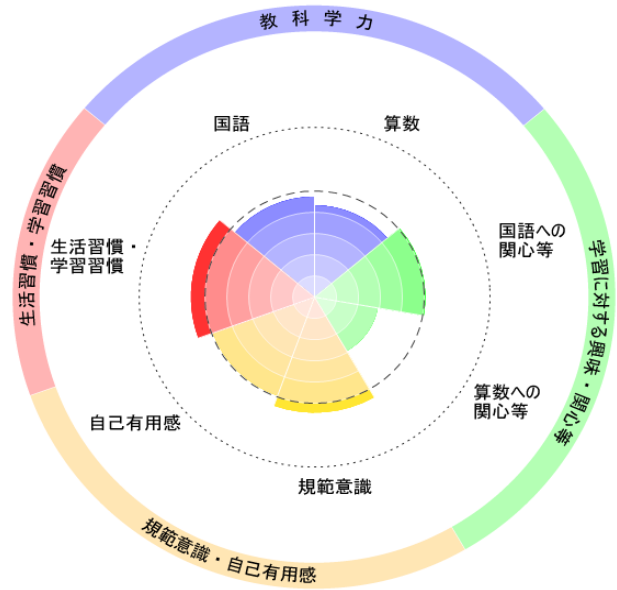
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○：成果，●：課題)	対 策
国語	○問題文に示された条件に沿って，文章を書くことができる。 ○語句に着目して文章を読むことができる。 ●同音異義語の漢字を文章の中で適切に使うことや，ことわざ・慣用句等の意味の理解が十分でない。 ●書かれている文の内容と，表やグラフから分かることを関連付けて読み取ることができにくい。	・毎月実施しているチャレンジテストに，同音異義語やことわざ・慣用句等の問題を取り入れ，日常的にふれる機会をもつ。 ・目的に合った文章を書いたり，資料を読んだりする学習を計画的に取り組んでいく。
算数	○棒グラフから，資料の特徴を読み取ることができる。 ○計算のきまりを使って，正しく計算をすることができる。 ●図形をずらしたり，回転させたり，裏返したりすることで，図形同士の組み合わせ方や辺の長さがどのようになるか考えることが難しい。 ●たくさんの情報から必要な情報を選び出して考えることが難しい。	・マス目や時計などの具体物を操作して，長さや時間の感覚を豊かにする。 ・授業やぐんぐんタイム，チャレンジテスト等でいろいろな問題に出合わせ，題意にあわせて適切に考えることができるようにしていく。

(2)生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○：成果，●：課題)	対 策
	○自分で計画を立てて学習したり，家庭で進んで学習や読書に取り組んだりする児童が多い。 ○地域の行事に参加する児童が多い。 ●地域の行事に参加しているが，地域や社会の出来事に関心がある児童は少ない。 ●発表するときに，自分の考えがうまく伝わるように工夫して話す児童が少ない。	・地域行事の前後の時期に励ましや賞賛の声をかけ，児童が自己有用感を高められるように心がける。 ・委員会活動等を利用して，児童が工夫しながら発表する機会をより多く設定したり，その取組を賞賛したりする。

(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)

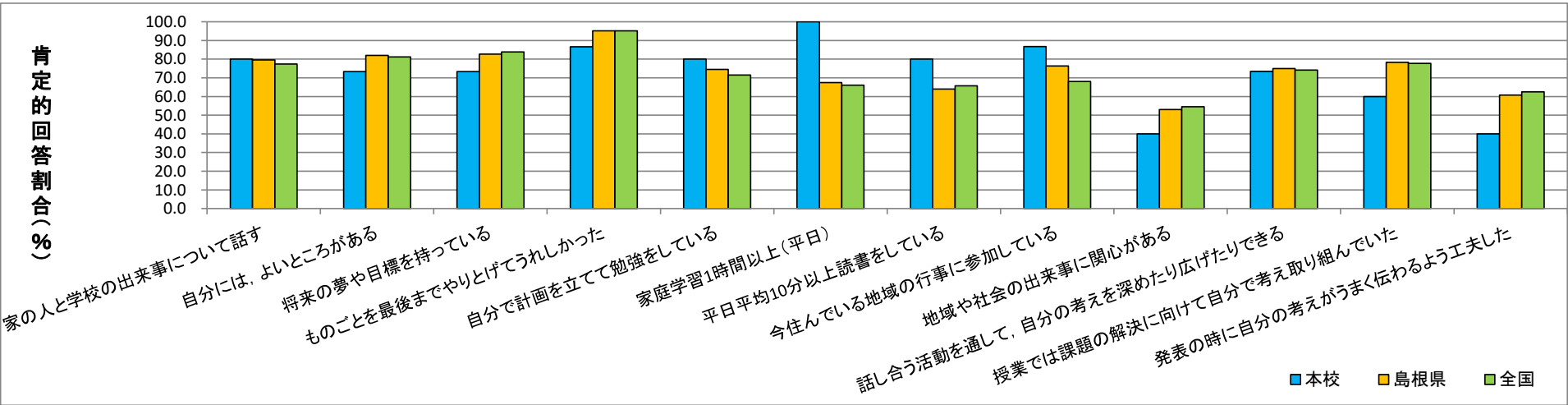


(5)その他，今後特に力を入れて取り組むこと

・各教科等で学習したことを，他の教科等でも生かしたり関連付けたりして問題解決していくように，学習活動を多面的にとらえながら計画的に学習に取り組む。

・主に算数科を中心に困難さを抱えている児童に対し，T・Tによる個別指導，放課後の学習補充，励ましなど，支援する機会を多くもつ。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや，教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

	本 校	松江市	島根県	全国
国語	61	63	62	63.8
算数	61	66	65	66.6

受検者数 15 人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は，最少の受検者数をもって表示して下さい。